

教科	科目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書等
工業	製図	2	1	機械	必修	機械製図 実教出版

### 1. 学習の到達目標

製図に関する日本工業規格及び製図についての基礎的な知識と技術を習得させ、製作図等を正しく読み取り、図面を構想し作成する能力と態度を育てるとともに、実際の現場において、活用できる能力を育てる。また、「機械設計」「工業技術基礎」などの教科との関連性を深めながら習得する。

### 2. 学習の評価

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
評価の規準	製図に興味・関心をもち、その基礎的な知識と技術の習得に意欲的に取り組むとともに、図面の作成には、主体的に学習する態度を身につけている。	図面の作成においては、創意工夫（思考・判断）し、機械製図に関する知識と技術を活用しながら表現する力を身につけている。	図面などを作成する過程において、基礎的・基本的な知識と技術を習得するとともに、図面を正しく明瞭に作成できる技量を身につけている。	日本工業規格（JIS）を踏まえた製図についての基礎的な知識を理解し、製作図の役割や作図法などを身につけている。
評価の方法	出席状況、授業態度、学習の取り組み状況、課題などの提出物の状況、図面、定期考査などを総合的に判断して評価する。			

### 3. 教科からのメッセージ

今日、わたしたちの日常生活や産業において、機械工学の技術がいろいろな形で取り入れられている。本教科は「製図」を基礎から学習し、製図の規格、図面の表し方、投影図のかき方、寸法の記入の仕方などを学習し、製品の開発設計や生産（製作）現場で生かせるような知識を習得し、「ものづくり」の素晴らしさを実感してほしい。

## 1年（機械製図）年間指導計画表

単位数（2単位）

教科書（実教出版）

目 標		製図に関する日本工業規格及び製図についての基礎的な知識と技術を習得させ、製作図等を正しく読み取り、図面を構想し作成する能力と態度を育てる。		
月	大項目	中項目	時数	
4	製図の基礎	1. 機械製図と規格	2	
		2. 製図用具とその使い方	2	
		3. 図面に用いる文字と線	4	
5		4. 基礎的な図形のかき方	4	
		5. 投影図のかき方	6	
		6. 立体的な図示法	6	
6				
7				
9	製図の基礎	7. 投影図のかき方（演習）	6	
		8. 等角図のかき方（演習）	6	
		9. 展開図	6	
10		製作図	1. 製作図のあらまし	2
			2. 図形の表し方	4
11	3. 寸法の記入法		6	
12				
1	製図実習	1. 支持台の製作図（製図例7）	8	
2		2. まとめ（復習）	8	
3				